

身のまわりの環境からできること

「私は地域で何か貢献したことはあるだろうか。」と考える

「と考えると、タバコの吸殻、空き缶などゴミ拾いをしたことがあります。公園にはお菓子のゴミ、タバコの吸殻、空き缶など様々なゴミが落ちていて、すぐにゴミ袋いっぱいになりました。大人は少ないのかなと感じました。でも、公園をきれいにしてくれる人がいることも参加してわかりました。清掃が終わるつて辺りを見渡してみると、とてもきれいになっていて、すつきりした気持ちになりました。とを覚えています。自分のことだけでなく、みんなが使うものを掃除するのはとても楽しかったです。このような活動が地域にもつ広まると、私たちの町や公園がきれいになつていって欲しいと思います。そのためには、活動を広めるための呼びかけやポスター掲示など、積極的に行動していただきたいと思います。

います。この前、友だちと帰ってるとき、

車いすに乗ったおじいさんを見かけました。
 おじいさんはとてもフラフラしていて、ガ
 ドレールにずっとぶつかっていました。その
 道路は、車一台分ぐらいしか通れない道で、
 歩行者が安全に歩くゆとりもありません。ま
 た車の交通量も多い道路なので事故にならな
 い心配でした。自分ではどうすることもでき
 ず、警察に電話をしました。電話するときに
 とても緊張しました。警察の方を待っている
 間、おじいさんをおさええているのが大変で、
 時間が長く感じました。その中で通り過ぎて
 いく人、見ても無視する人などたくさんいま
 しました。そのとき、とても悲しかったです。少
 しでも手伝わなくてくれたり、声をかけてくれ
 ばうれしかったです。ほっとしたと思います。
 そのあとと警察の方が来てくださいました。が、
 たくさん話を聞かれて、そのときは心臓がバ
 クバクしていました。おじいさんは無事家に
 帰ることができてよかったです。私の心の
 中には少しもやもやした気持ちが残りました

た。人が困っているのになぜ通り過ぎたり、無視したりするのだからと不思議に思いました。だけれどもがそうするわけではないと思います。私は、だれもが声をかけたり、自分だけです。ためではなく、少しでも他人の役に立てるようなことをちよつとづつでもいいから取り組めたいと思います。そして、自分は無視するような人にはならず、誰にでも困っている人に気を配れるようになりたいです。世界では、自分の知らないいろんなところでたくさんの方が助けられ暮らしています。互いに支えられていることを忘れずに、今回体験したことを活かして、日頃の生活や今後の人生に役立てていきたいと思います。